

JAしまねびより

2019

1

January Vol.34

特集 島根のいいもの再発見!! 「津和野町 榎(さかき)」 西いわみ地区本部



JALまね いわみ中央地区本部版



謹賀新年

皆様の健康と
ご多幸と
心よりお祈り
申し上げます

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同

新年あけましておめでとうございませす。

組合員の皆様には、新しい年を穏やかに迎えることとお慶び申し上げます。

今年も無事に新年を迎えられましたのも、組合員の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の大雪や4月の地震、7月の豪雨や9月から10月の台風被害など、県内でも多くの被害が発生いたしました。被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、今後も復興に向けたご支援をさせていただきますと思います。

事業運営につきましては、「第1次中期経営計画」と「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、前年に引き続き「儲かる農業の実現」を念頭に、自己改革の3本柱である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重要課題として、取り組んで参りました。

営農関係では、新設した販売戦略室により、品目横断的に販路開拓に努め、新しい商品企画や輸出や都市圏での販売など、販売を起点としたものづくりを進めました。また、米については生産調整の

見直し初年度を迎えるなかで、事前契約比率の向上を重点的に進め、畜産では県央畜産総合センターや隠岐地区の二つの市場整備など、基盤強化の取り組みも着実に進めているほか、担い手育成や経営指導にも力を入れました。

地域の活性化では、地区本部を核として女性組織、青年組織等と連携を図りながら、食と農を基軸としたくらしの活動に取り組み、各地域でJA・支店まつりや組合員セミナー、農業体験、生活文化教室などを開催し、多くの組合員・地域の皆様に参加していただく機会づくりに努めました。

また一方で、「運営体制改革」「事業改革」についても最重要課題と位置付けて取り組み、昨年11月に開催した臨時総代会では、次の役員改選から理事数を現行の65人から40人とし、このうち常勤理事を33人から17人に、非常勤理事は32人から23人に、監事を9人から6人に削減する役員体制と、運営委員会の再構築と強化を含む新しい運営体制に関する議案をご承認いただきました。今後は車の両輪としての事業改革を早急に進め、一層の統合メリットの発揮、効率化を進め、組合員の皆様への還元に努めて参りたいと考えております。

さて、本年は現在策定を進めている「第2次中期経営計画」と「第2次農業戦略実践3カ年計画」の初年度となりますが、農業やJAを取り巻く環境は日欧EPA、TPP11の発効、米国とのTAGなど大変厳しい中での計画となります。そのうえ、5月には「農協改革集中推進期間」の期限が到来します。政府はJAの自己改革の実施状況等を調査し、その結果次第では信用・共済事業の分離や准組合員の事業利用規制を視野に、更なる農協改革圧力を強める懸念もあり、JAは重要な局面を迎えます。

このように大変厳しい経営環境の中ではありますが、今後も組合員の皆様との話し合いの機会を多く設け、いただいたご意見を事業に活かし、皆様から選ばれて、役職員が一体となり取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組合員、地域の皆様にとりまして、本年が幸多い一年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成31年1月

代表理事組合長 竹下 正幸

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー



【津和野町 榊(さかき)】

1月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、神事や神棚に使う榊の栽培に取り組む、商人(あきんど)榊生産組合長の田中幸一さんにお話しをお伺いしてきました。



雨の中、榊が育つ山の中で色々とお話をいただきました。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！



商人地区、急峻な中国山地の谷間に里山の暮らしを見せてくれます。

榊を栽培するきっかけを教えてください。

昭和48年、20歳の時、荒茶生産の専業農家として経営を引き継ぎました。旧日原町の商人(あきんど)集落は中国山地の山あいであり、ほとんどが森林で平坦な農用地は1パーセント未満と農業が不利な中山間地です。当時から高齢化が進み人口は減少、何とかしなければならぬと何度か集落で話し合いました。地区にたくさんあるものは、広大な里山と高齢者の労働力。掛け算の原理でこのたくさんあるもの同士を掛け合わせることであればより大きなもの、すなわち新たな核となる特産品を創り出すことができます。里山を活用できるものには何があるのか。集落で出した答えは榊でした。榊なら広大な里山を農用地として見立てることができ、稲作のようにコンバインなど機械を乗り回す必要がない。ハサミとカゴのみで高齢者が無理なく作業できる。当時は山に自生する榊を切り取って販売する人はいませんが、計画的に植栽し栽培ものとして生産している人はいませんでした。それならば、一大産地化を目指し農家全員で取り組もうと平成元年に集落の全21世帯(2世帯は非農家)のうち、19戸で「商人榊生産組合」を設立。短期的にはタラの芽などの山菜、長期的には榊をと、平成生まれの特産品を作っていくと動きだしました。第1次に6.8ha、その後2、3次と造成し最終的には8ha弱の面積で約3万本を植栽し生産を開始しました。

榊の栽培や収穫はどのようにするのですか？

ハシゴを使って収穫する必要があるようになるべく樹高を低く仕立てます。樹齢5年辺りから収穫できるようになり、ハサミを持ち、カゴを背負って山で枝を収穫していきます。持ち戻った枝は葉の汚れなどを洗浄した後、虫食いや葉の形が悪いもの、欠けているものなどを見極め、綺麗な枝ぶりのものだけに振り分けます。大きさは枝ぶりなどで5種類くらいに分け神棚等に立てる

里山に降ろそうとスコップな

これまでの大変だったことや苦労
してきただことありませんか？

前提で高さ30cm、底辺が25cm
の2等辺三角形になるように
数本を束ねた後、水揚げ・保
水処理を行い出荷します。益
田市と浜田市のほか、広島市
の市場に出荷しています。



より良い商品にという想いが、市場に評価される高い品質を保つ秘訣につながっている。



タイムスリップしたかのような風景も、



様々な努力と工夫が脈々と受け継がれてきた証なのかも。



作業しやすいよう整備された里山に榊が立ち並ぶ。近いからこそ手入れが行き届き、その努力と時間が立派な畑に。

ど持って苗を探して山奥まで取りに行っていました。先端の細かい毛細根まできちんと取らなければならず、重労働かつ効率が悪く「これじゃだめだ」と痛感しました。そこで種苗会社4、5社から数種の苗木を取り寄せ、それぞれの世帯で東西南北や日照時間の違う条件で榊を植えて品種を比較、集落に合った榊を選び植栽をはじめました。先進地で勉強する機会がもてないため、栽培方法から病気や害虫の種類や対策まで試行錯誤を繰り返しながらこれまで行ってきました。幸い、榊はお茶と同じツバキ科の植物だったので親しみが有り、これまでの経験が生かせる時がありました。榊の生産は今年で30年目になりますが、生産者全員の頭の中にあつた知識を体系化した栽培マニュアルは、近年になってようやく新規生産者に渡せるようになりました。大変な作業の1つには、点在する榊の場所まで肥料を持って行き散布するのが労力を要します。

市場での評価はいかがですか？

しっかりと肥培管理している
ので葉の色ツヤがよく、加えて日持ちが良いと高く評価をいただいています。お客様の中には水に入れていたら発根したという人がいるほど、鮮度や品質にはこだわっています。近年は外国産の榊が多く出回っており、品質が極めて高い国産の榊を求めて花屋さんをはじめ、全国の市場から訪ねていらっしやいます。生産量に限りがあるため需要に対して供給が追いついていないのが現状です。

今後の抱負や展望を聞かせてください。

市場からの引き合いはたくさんあるので、生産量をまだまだ拡大しなければならぬと考えています。平成24年には津和野町全域、平成27年に

榊 (さかき) 一口メモ

「木」に「神」と書いて榊(さかき)。神道で古くから関わりがあるとされる常緑樹で、常に生い茂っている木のため「栄木(さかき)」、神と人との境界を示す意味もある「境木(さかいき)」というのが語源とされる。毎月1日と15日に神棚の榊を変える習慣のほか盆や正月、お彼岸等の特需など、1年を通して安定的な需要があることから、集落では年150万円前後の収入が見込める副職として榊の生産を積極的に勧めている。商人地区での榊栽培の最高齢者は88歳と91歳の夫婦がいるほか、近年に参入した20代の生産者が出荷量を増やすなど、個人の状況やライフスタイルに合わせて榊生産を有効に活用するデザインが注目を浴びている。



「凜とした」という表現が正しいかどうかは別として、こんな綺麗で立派な榊を見るのは正直初めてでした。「本物」という言葉がふさわしい。



田中組合長(左)と研修生の中川峰さん(右) 中川さんをはじめとした若手が商人イズムの継承者として榊栽培に取り組みだしている。

農と合わせて副職として榊の栽培を勧めています。私自身は6年前に荒茶の生産を辞め、山菜と榊の生産に切り替えました。限界集落といわれた商人地区は昔からチャレンジ精神が旺盛な土地柄です。変わりゆく時代に柔軟に対応し、地域の農業が途絶えないよう努力を続けています。

チャレンジ「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

JAは地域の活性化に取り組んでいます！

JAは農業だけではなく、JAならではの取り組みで「地域の活性化」に貢献しています。

〔食農教育〕▶▶▶▶

代表的なものに「食農教育」があります。子どもたちはもちろん大人にも、「食べる」という行為そのものだけでなく、その背景にある「いのち」や農業の果たす役割をお伝えすることに大きな特徴があります。農業体験学習などを通じて、土に触れる楽しさや収穫の喜びを味わうだけでなく、農家の苦勞を知り、自分の住む地域の魅力や地産地消の意味を学ぶ絶好の機会になっています。



ホームページで TVCM
「愛菜カレー」編を公開中！



◀◀◀◀〔JA女性部活動〕

女性部の活動も、食と農を通じて地域を元気にする取り組みにつながっています。各地域の伝統料理を学び伝える講座や、健康教室、趣味のサークルなど幅広く活動しています。また、一般教養や料理講座などを年間のカリキュラムで学ぶ「JA女子大学」も人気で、若い女性を中心に生き生きと活動しています。

元気な女性たちが、多方面の活動に加わることで地域に活力が生まれ、活性化につながっています。

理事会情報 (11月29日開催)



- 協議事項
- ① 平成30年度しまね農業生き生きプランの承認について
 - ② 第2次農業戦略実践3カ年営農計画（2019～2021年）の策定について
 - ③ 信用事業にかかる平成31年度からの事業運営モデルの選択について
 - ④ 平成30年度末決算見込み（1次）について
 - ⑤ JAしまね中間期ディスクロージャー誌2018の作成について
 - ⑥ 次期中期経営計画（2019～2021年度）策定の進め方について
 - ⑦ 役員選考について
 - ⑧ 年間所定内労働時間の統一について
- （紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

地区本部トピックス

雲南

飯南町無人航空機運営協議会 ドローン免許新たに4人取得し体制強化

飯石郡飯南町にある同町無人航空機運営協議会は、無人ヘリコプターやドローンを使った水田防除に取り組んでいます。12月10日から14日に行われた免許講習会では、農業用マルチローター（ドローン）の技術認定証を新たに4人が取得し、来シーズンに向けて体制を強化しました。

今年7月に同協議会のメンバーでもある松江市の株式会社SWIFTが、県内初の農林水産航空協会認定の教習所、整備事業所として認定されたことを受け、分校開催として同町で講習会を開きました。

今年は町全体と雲南市の一部、約900㍍で散布。高齢化が進み防除面積が年々増加する中、作業者の負担を軽減するために拡充を図りました。

来年はヘリとドローンの免許取得者16人で作業を進めていく予定です。新たに免許を取得した同町の藤原翔太さん（20）は「地域の皆さんの力になれるよう頑張りたい」と意気込みます。



免許講習会でドローンを操作する藤原さん

くにびき

店舗のイメージや窓口の対応、 職員の身だしなみを競う 美粧化コンクール実施

くにびき地区本部は12月6日、支店・店を巡回し、店舗内外の明るい雰囲気や接遇、職員の身だしなみなどを審査する「店舗美粧化コンクール」を実施しました。

同コンクールは各支店・店の創意工夫で、親しみやすく安心感があり、来店したくなるような明るい店舗作りを目指し開催しています。

当日は、12名のJA職員と4名の女性部の部員が審査員となり、4班に分かれて巡回しました。

審査員は「店周・外観」、「ATMコーナー」、「店内」、「身だしなみ・接遇」について審査し、上位3支店・店を選出。1位にはキャンペーンなどを効果的にPRし、気持ちの良い挨拶をしていた川津支店が選ばれ、法吉支店、宍道支店と続きました。

審査員を勤めた女性部東出雲支部の森口順子支部長は「それぞれの支店・店で工夫がされていた。明るく挨拶をされる支店には、また来店したくなった」と評価しました。



店内をチェックする審査員

隠岐

平成30年度果樹剪定講習会を開催

隠岐地区本部は12月13日（木）に、平成30年度果樹剪定講習会を開催しました。

果樹剪定講習会としては、昨年に引き続き2回目の開催となり、隠岐農産物生産者協議会の会員を中心とした島内の生産者32名が参加しました。

当日は島根県農業技術センターより2名の方に講師として来島いただき、栽培や剪定のポイントなどをわかりやすく説明していただきました。

あいにくの雨の中での開催となりましたが、参加者からは剪定についてはもちろん、普段の管理や実際に被害のあったみかんを例にした病害虫の防除についてなど多くの質問があり、とても有意義な講習会となりました。



やすぎ

新たな担い手誕生

やすぎ地区本部は11月21日、やすぎ担い手支援センターで新規就農者実践研修修了式を開催しました。イチゴが特産の安来市で、新たに2人の担い手が誕生しました。式には県や市、指導農業士ら約20人が出席し、研修生2人の修了証書授与と激励を行いました。

研修を修了したのは、大阪府出身の山下勇人さんと神奈川県出身の大森雄介さんで、2人は島根県で農業がしたいと1ターンを選びました。特産であるイチゴを研修品目として、平成28年から市の新規就農研修事業で、指導農業士の池田憲司さんと野島年光さんの下、それぞれ一からイチゴ栽培などを学びました。その後平成29年から今年8月まで、同センターで栽培全般と収穫などの実践研修を3,000時間弱行いました。

同センターは2012年の開設以降、今回の2人を含め11人の修了生を送り出しています。



大森さん（前列中央右）と山下さん（前列中央左）

斐川

組合員学びのひろば 「防災を学ぼう！」

斐川地区本部は12月3日、自然災害などの緊急時に対応できるよう「防災を学ぼう!」と題してセミナーを開催しました。始めにJA職員が、家の光記事からアウトドアコードを使用した「防災プレスレット」を紹介説明し、参加者が作りました。続いて、日本赤十字社島根県支部より2名の指導員を講師に招き、風呂敷で作る「リュックサック」、1枚のタオルケットや毛布を利用した「ガウン」、リラックス効果のある「ホットタオル」の作り方など、災害時に役立つアイデアを教わりました。また、貴重な水を有効利用したお米の非常炊き出し方法なども学び、参加者は質問等を交えながら真剣に取り組んでいました。企画した組織広報課の周藤課長が「日々の備えが大切、今回の研修を万が一のときに活か

かしていた
きたい」
と総括し、
防災意識の
高まったセ
ミナーとな
りました。



タオルケットを利用して作った「ガウン」

石見銀山

第4回JAしまね石見銀山地区本部 家の光大会

石見銀山地区本部は12月8日、大田市大田町の島根県立男女参画センター「あすてらす」で、第4回JAしまね石見銀山地区本部「家の光大会」を開催しました。

JAしまね石見銀山女性部、JA役職員、一般の家の光愛読者210人が参加し、公演や「みどりをまもる小学生作文コンクール」受賞作文の発表など数々の催しを楽しみました。

公演では、JAしまね出雲女性部塩冶支部「えんまん座」がユニークな寸劇やダンスを披露し、会場を大いに沸かせました。

その後は、JAしまね女性部が主催する「みどりをまもる小学生作文コンクール」で島根県知事賞を受賞した大田市立池田小学校6年の藤原大和さんによる作文の朗読や家の光記事活用体験発表、ふじの会の日本舞踊、川合支部のフォークダンスなどのアトラクションが行われました。



ダンスを披露する女性部川合支部

隠岐
どうぜん

来店感謝デー開催

師走の年金支給日12月14日（金）に毎年恒例になった来店感謝デーを実施しました。

当地区本部3支店の統一粗品として、JA海士町農産加工場で海士町産もち米を使用して製造した「紅白餅」を日頃の感謝を込めて来店者にプレゼントしました。また西ノ島支店では、この時期利用者のみなさまからのご要望と評判の高い「石焼き芋」を早朝から準備しました。グリーンストア（西ノ島）では歳末商品と直売野菜などの「割引歳末大出し」を同日開催し、多くの方に来店いただきました。有難うございました。



出雲

タオル1人1枚運動 JAしまね出雲女性部

JAしまね出雲女性部が、「タオル1人1枚運動」で集めたタオル3,500枚を出雲市の高齢者福祉施設「みどりの郷」4施設へ寄贈しました。11月29日には贈呈式を行い、同女性部の高野智子部長と三原洋子河南地区長が「みどりの郷 湖陵」の吉井忠夫施設長にタオルを手渡しました。

部員から自宅で眠っている未使用のタオルを集めて福祉施設に寄贈する運動で、今年初めて企画したものです。発案した高野部長は「多くの部員が参加しやすく、皆さんの役に立てることはないかと考えた。部員の力が集まれば、1人1枚でもすごい枚数になる」と話しました。

JAしまね出雲地区本部の職員や、同地区本部の関連会社にも呼びかけ、7～9月の3ヶ月間で約4,500枚を収集。そのうち1,000枚は、7月の西日本豪雨で被災したJAしまね島根おち地区本部管内への支援として贈りました。



高野部長（右奥）と三原地区長（右手前）から吉井施設長へ贈呈

西いわみ

購買店舗をリニューアルしました。

西いわみ地区本部は11月30日、益田市美都町の購買店舗「ラーバン」をリニューアルし、「YショップJALしまねラーバン」としてオープンしました。

業務運営は、同町で温泉施設などを運営する(株)エイト(青木正美代表取締役社長)が担い、地域の皆さんの生活を支えます。全農と提携関係にある山崎製パン(株)の地域密着型店舗形態「Yショップ」を活用した事業展開と(株)エイトが掲げる地元経済の活性化と地域住民の生活を守る取り組みとが合致すると考え、「Yショップ」へ業態転換することを決めました。

ヤマザキオリジナル商品に加え、地元生鮮食品や農産物加工品、JAブランド品も従来通り取り揃えています。

オープニングセレモニーでは、青木社長が「新店舗は生活を守る大事な店。この店が末永く発展するようがんばりたい」と抱負を述べました。

田村清己本部長は、「食と農の安全を目指し地域に貢献できる店舗となるよう支援したい」とエールを送りました。



島根おおち

地元の味覚を全国へ「味の絆」

島根おおち地区本部では、毎年お歳暮時期に合わせて取扱う『味の絆』の発送が12月4日より始まりました。

この「味の絆」は、管内の農畜産物と加工品を贈答用品として取り扱うことで、管内農畜産物の質の向上を目指すとともに、地元の味覚を全国に味わってもらおうと行なっているもので、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地に発送しています。取扱う商品は、人気の石見和牛肉のすき焼きセットや管内加工場で製造したきねつき餅の他、島根おおち地区本部で振興に取組む特別栽培米「石見高原ハーブ米こしひかり」、「石見高原ハーブ米きぬむすめ」、石見高原ハーブ米コシヒカリを原料とした純米酒「^{ゆうか}邑華」など15種の商品を取扱っています。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取り組みを行ってまいります。

今年度の取扱いは、12月21日(金)の発送をもって終了となりました。



本店

女性大会、家の光大会 大盛況!

JAしまねとJAしまね女性部は12月5日、出雲市のラピタウェディングパレスで「第36回JAしまね女性大会ならびに第20回島根県家の光大会」を開催しました。

やすぎ、石見銀山、いわみ中央の3地区本部の愛読者が発表した家の光記事活用体験発表では、「ふみだせ2歩!」と題し発表した、やすぎ地区本部の梶村純子さんが最優秀賞を受賞しました。介護現場で働く梶村さんは、家の光記事を活用した介護予防に繋がる講座を企画。最初は1人だった参加者も徐々に増え、今では年間教室に発展した様子を発表しました。梶村さんは来年2月に神奈川県横浜市で開催される「第61回全国家の光大会」に県代表として出場します。

各女性部が練習を重ねて発表したグループ活動では、ス Copp 三味線やベリーダンス、ファッションショーなどを披露。最後には隠岐どうぜん女性部による「キンニャモニャ」を会場全員で踊り、盛況のうちに閉会しました。



最優秀賞を受賞した梶村さん

いわみ中央

産直の加工品を増やそう!

JAしまねいわみ中央地区本部産直振興協議会江津支部は11月21日と28日の両日、会員を対象に加工品に関する研修会を開催しました。この研修は、所得向上に向け季節の農産物に付加価値をつけることを目的に、基本的な加工技術を習得するもので、会員は地区本部管内の産直の加工品をもっと増やしていこうと真剣に研修に参加しました。

前半の研修は漬物・ジャム類の加工の基礎的研修で、講師の生田千枝子アドバイザーより、漬物に関しての保存方法や殺菌方法等の説明を聞きました。併せて浜田保健所職員を講師に、表示研修も行いました。後半は実習として、ピクルスやジャムを作り、ビン詰め殺菌方法などを学びました。

会員は、「漬物を出荷する場合、保健所の許可も必要になってきて、より安全安心を求められてきているが、今日は殺菌方法等具体的な指導を受け勉強になった。質の高い商品を出荷するためにも、このような研修の定期的な開催を望む」と話していました。



新年のご挨拶



地区本部長 井上 宗治

新年明けましておめでとうございます。
組合員・利用者の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、JAしまねいわみ中央地区本部の事業活動につき格別のご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

おかげをもちまして30年度事業につきましては概ね計画通りの事業運営をさせていただきました。

昨年を振り返りますと、地域農業においては夏場の高温や度重なる台風による水害等の自然環境に影響を受け、米をはじめ多くの農産物の品質、収穫量が減少した一年となりました。

又、米の買い取り制度につきましては、ご理解をいただき、米集荷に対しご理解、ご協力いただきましたこと感謝いたします。

国においては、TPP11や、日・EUのEPAの国会承認等、先行き不透明感のある農業環境が予測されます。

一方、経営環境も少子高齢化による人口減少、市場基盤の減少、マイナス金利の影響が顕著となり経営基盤を揺るがしており自己改革実践のスピード化が求められています。

JAしまねでは、30年11月臨時総代会において運営体制改革として役員を半減し自ら身を切る改革を決議しました。次期改選期より新たな体制による組合員皆様の負託に應える体制・経営基盤の強化に努めます。

いわみ中央地区本部といたしましては、JAしまねの自己改革の実践と組合員の皆様との対話を軸に下記の三点を運動の柱に掲げ協同組合運動を展開いたします。

1. 信頼される農畜産物の提供と農業者の所得向上
2. 地域社会に貢献する協同活動の展開
3. 組合員の負託に應える運営の実践

組合員、利用者の負託に應えるべく役員一丸となって頑張る所存でございます。一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様方のご多幸を祈念し年頭の挨拶といたします。

島根県農業協同組合
いわみ中央地区本部

常務理事 本部長 井上 宗治
 常務理事 副本部長 佐々木 豊
 理事 本田 誠 次
 理事 中東 多久夫
 理事 森井 和朝





みどりをまもる小学生作文コンクール

入賞おめでとうございます

この度は、入賞おめでとうございます。

このコンクールは、昭和54年から始まり、今年度で40回目を迎えました。

子ども達の体験が、感性豊かな素晴らしい作文となって書かれています。今年度は、県内46校147名の児童の作文が応募されました。管内では、三隅小学校・波佐小学校・弥栄小学校から6名の入賞者が出ました。これからも自然や農業に対する思いをたくさん持ってほしいと思います。ご協力いただきました小学校の先生方に心よりお礼申し上げます。

J Aしまねいわみ中央女性部



「緑の力、農業の実感」
浜田市三隅小学校5年
たかした さや
高下 沙弥さん



「米への思い」
浜田市立三隅小学校5年
なかの まひるさん



「わたしもゆめを かなえられるように」
浜田市立波佐小学校2年
あおき りこ
青木 莉子さん



「米とは？」
浜田市立三隅小学校5年
すみた かりんさん



「田植えから学んだこと」
浜田市立三隅小学校5年
しもだ じゅり
下田 珠莉さん



「ぼくの家のおうえ」
浜田市立弥栄小学校3年
とくだ たいが
徳田 大河さん

来年作に向けて
剪定講習会開催



平成30年産ぶどうの出荷も終了し、来年産の栽培に向け冬季剪定講習会を開催しました。

11月8日（木）、浜田ぶどう生産組合は佐々木巖氏ぶどう圃場（浜田市宇野町）、金城町ぶどう生産者協議会は、(株)藤若農産ピオーネ圃場（浜田市金城町）において、講習会を開催いたしました。島根県西部農林振興センター浜田農業普及部竹岡普及員に講師を務めていただきました。

講習会では、切り戻し方法や枝の配置、誘引方法などの実技も含めての研修を行い受講した生産者は1時間熱心に勉強をされました。

また、金城町ぶどう生産者協議会は今回の剪定講習会と併せ「美味しまね認証」取得に向けた事前現場研修を行い、島根県西部農林振興センター農政部安永技師より取得に対する農薬、肥料、調製場でのポイントなどを現場で研修を受けました。

今年産の品質（着色、糖度ほか）は浜田ぶどう生産組合、金城町ぶどう生産者協議会とも前年より良好であり、今回の講習会を契機に次年度においても甘くて美味しいぶどうを消費者へお届け出来るよう努力してまいります。

原木乾椎茸生産組合
視察研修会



いわみ中央原木乾椎茸生産組合（岩地組合長 生産者53名）は、11月22日（木）に組合員の生産意欲向上、後継者育成、新規就農者確保を目的とした視察研修会を開催しました。

今年度は広島県庄原市西成町で椎茸生産をされている松本 努氏のほだ場、乾燥施設の視察に行きました。

松本氏は、平成20年より父 中島 昇氏の椎茸栽培の手伝いを始め、平成22年に引継ぎ本格的に栽培をスタートされました。年植1,000本の規模で植菌をされ原木椎茸栽培に対する意欲も高く、散水システム活用とビニール被覆をすることにより効率がよく、品質の高い椎茸栽培に取組んでおられます。

販売についてもJAの格付共販事業に1.5t出荷されているとのことでした。

生産組合も高齢化が進み生産量・販売高において現状厳しい状況ではありますが、今回の研修で学んだことは当組合生産者の今後の椎茸栽培に大変参考になったことと思います。

今回学んだことを活用し乾椎茸生産に取組んでいきたいと思えます。



旭小学校5年生が出前授業
をうけました



12月5日（水）、浜田市立旭小学校において5年生を対象に米づくりについて出前授業を行いました。

児童は今年の5月には田植えを行い、7月は稲の生育調査、10月は稲刈りを行いました。今回は座学として米づくりの基本の勉強を行いました。講師はJAしまねいわみ中央地区本部旭管農経済センター（幸田）が児童23名に、教材としてJAグループ家の光協会発行である農家の子供向け月刊誌「ちゃぐりん」を使い授業を行いました。

授業の内容は、お米の基本・お米ができるまでの季節の作業・田んぼの生き物・田んぼが守ってきたものなどを学習しました。お米の種類（現物）や水分計を使ってお米の水分の重要性についても学びました。

また、お米についての「おもしろお米クイズ」を出題し、頭を捻りながら考えていました。児童は「田んぼは私たちを守ってくれている」とか「朝食にご飯をなぜ食べないといけないか」などお米の大切さについて勉強しました。

2月には、「お米パーティー」を開催されます。児童たちが作ったお米のネーミングは『ASAHIMI米』だそうです。



教えて野菜作り!

2019年1月号

新年明けましておめでとうございます。



本年亥年は「い」と読み、十二支の中では12番目に位置しています。「亥」は象形文字で、イノシシ・豚の骨格を描いたものが元になっていますが、「骨格」「骨組み」というのがもとの意味だそうです。日本では「猪」の字は「イノシシ」という意味ですが、中国では「ブタ」を意味しています。また、猪の肉は万病を予防するといわれ、「無病息災」の象徴とされています。そのため、病気になりにくい年とされています。「田の神・作物の神」などの意味合いもあるようですが、それならどうして田畑や作物を荒らすのでしょうか。

2019年1月の時点ではまだ「平成」ですが、5月には新天皇陛下の即位もあり新しい元号になります。いつもとは違った一年となりそうですね。

今年も年の初め家庭菜園に関する問題を出題しました。それぞれ自分のレベルを確かめてください。今年もおいしい野菜を作りましょう。

① 雑草対策に最も効果があるマルチフィルムの色はどれか?

- ①黒 ②緑 ③透明(白) ④シルバー

② ホウレンソウが最も甘くなる時期はどれか?

- ①だんだんと気温が暖くなる春
②日長がだんだんと長くなる初夏
③日長がだんだんと短くなる秋
④霜が降りるくらいに気温が下がる冬

③ アブラナ科のなかで、根こぶ病にかかりにくい野菜はどれか?

- ①キャベツ ②ハクサイ ③ダイコン ④カブ

④ 肥料の施し方に関する説明で、間違っているものはどれか?

- ①同じ野菜でも、季節によって肥料の量を加減する
②野菜を育てるには、常に一定量を施す必要がある
③同じ野菜でも、天候に合わせて肥料の量を加減する
④肥料不足で葉色が悪くなったときには、追肥を施す

⑤ カボチャの品種に関する説明で、間違っているものはどれか?

- ①日本カボチャには、「鹿ヶ谷かぼちゃ」や「黒皮かぼちゃ」などの品種がある
②西洋カボチャの品種はねっちりとした食味が特徴である
③ペポカボチャにはズッキーニや「そうめん南瓜」などがある
④カボチャの形には品種によって、ひょうたんのようないろんな形や鶴の首のような形をしたものがある

⑥ 子カブ品種の収穫適期はどのくらいが適当か?

- ①直径3~4cm
②直径5~6cm
③直径10cm程度
④直径15cm程度



⑦ アブラナ科の野菜を食害しない虫はどれか?

- ①アオムシ
②ハスモンヨトウ
③アワノメイガ
④コナガ

⑧ 春夏作と秋冬作の2つの作型で栽培できる野菜だけを組み合わせたものはどれか?

- ①リーフレタス、ホウレンソウ、コマツナ、ラディッシュ
②ジャガイモ、キャベツ、メロン、オクラ
③ハクサイ、ブロッコリー、スイカ、キュウリ
④カブ、シュンギク、ハクサイ、カボチャ

⑨ 畝の役割の1つとして適切なものはどれか?

- ①風をさえぎる
②保水性を高める
③通気性を高める
④保肥性を高める



⑩ 種まきから収穫までの栽培期間が、80日を超える野菜だけを組み合わせたものはどれか?

- ①ハクサイ、コマツナ、キュウリ、ミニトマト
②ブロッコリー、ホウレンソウ、ピーマン、ゴーヤー
③長ネギ、キャベツ、ナス、トマト
④ニンジン、タマネギ、シュンギク、カボチャ



解答 ①-1 ②-4 ③-3 ④-2 ⑤-2 ⑥-2 ⑦-3 ⑧-1 ⑨-3 ⑩-3

産直トピックス



11月の営農塾
【第7回 11月21日】
 11月21日（水）、第7回 営農塾が開催されました。 今回の営農塾でも前回同様に大根の収穫を中心に行いました。前回よりも大きく育っていた大根を参加者みんなで収穫しました。みなさん収穫を楽しみにしていました。他にも今回は新たにソラマメを畑に植えたりして、次の収穫に今から思いを馳せていました。

サプライズ



浜田市弥栄町 大谷 重信 さん
 くつついちゃつた

他にも「産直の売上向上」についても話があり、1年間の生産スケジュールなどを考え、参加者同士で意見を交換したりしていました。 次回は12月18日に加工品の講習会を予定しています。



第7回育成塾
「土壌肥料について」の講習会を開催！
【第7回 11月20日】

11月20日（火）、参加者12名で第7回育成塾の講習会が開催されました。今回は土壌肥料についてという内容で、長島主任普及員といわみ中央地区本部の島本職員から講義がありました。

まず長島主任普及員から肥料の種類や性質、効果、その効き方で詳しく話をされていました。専門的な話でしたが、都度質問したりして理解を深めていました。そのあと島本職員からも「肥料・堆肥の種類と使い方」について講義があり、肥料を買う時のポイントやどこをチェックするべきかなど説明があり、より具体的な内容について話をされました。

地域の話題

井野地区農業まつり開催



11月18日（日）に浜田市三隅町井野の井野公民館において「井野地区農業まつり&公民館展」が開催されました。このまつりは昭和60年11月にJAが公民館近くにある「みのり会館」で始めたまつりであり、現在も場所を変え井野地区のみならずとJAとで、地域活性化の為、2年に1回開催されている歴史のあるまつりです。当日はステージでのイベントの他、地域のみなさんやJAからの出店があり盛況の1日でした。又、井野地区のみの農林産物品評会も行われ多くの野菜や穀物・果実等数々の出品がありました。○×クイズでは井野地区に関係する問題が多く出され参加者も首をひねりながらも楽しく答えられておられました。年々人口が減っていく中、地域のみなさんが地域の為に、企画から当日の開催まで一丸となって取り組んだまつりであり、井野地区の皆さんの団結力を感じたまつりでした。



ふれあい防災運動会

J A 女性部は、12月1日(土)、金城町のふれあいジムがなで「ふれあい防災運動会」を開催しました。J A 役員と女性部員約360名が参加しました。J A 女子大学 O G 会も加わり楽しく汗を流しました。職員も含め地区別に6色に分かれて競技しました。今回は、防災をテーマにした為、プログラムも従来のメニューを入れ替え、水の代わりに玉入れの玉を運ぶ「バケツリレー」や毛布と竹竿で作る臨時担架での「担架リレー」などが取り入れられました。競技に入る前には、説明を受け速さだけでなく安全・確実に運べる緊急担架作りの講習も受けました。又、昼食には女性部員が炊出し訓練も兼ねてカレーを準備しました。このご飯は、ハイゼット袋にお米と水を入れ大鍋で炊きあげました。皆が、色別に並び順番に受け取り温かいうちに食べることが出来ました。防災訓練も兼ねた楽しい運動会になりました。



スコップ三味線を披露

と題して、発足当時の活動から55年の歴史について発表していただきました。また、ステーション発表では、スコップ三味線での新曲『浪花節だよ人生は』を演奏しました。徳田部長のステーション紹介は、「少々練習不足ではありますが、人数で勝負です」とありましたが、部員の心が一つになった演奏で、会場から大きな拍手をいただきました。



12月5日(水)、いわみ中央女性部(部長 徳田マズエ)は、出雲市ラピタにて開催された、第36回島根県女性大会ならびに第20回島根県家の光大会へ、部員42名で参加しました。家の光大会の記事活用体験発表では、いわみ中央女性部を代表して、江津女性部の青木文江さんが「家の光とともに歩んだ江津女性部の歴史」

いきいきサロン2018

し、仲の良いお友達はもちろんの事、普段なかなか会うことの無いお友達との交流を深めることを目的としています。午前中は、長生きについての講義やごみの分別等々様々な講義を受け健康増進やごみ処理についての理解を深めました。お昼前には、今年度は漬物コンテストを行い、「どれも美味しくて悩むな」といった声が多く聞かれます中、思い思いの氣に入った漬物に投票して盛り上がりました。女性部の会員が早朝から地元食材で作ったお弁当を食べ、午後からいよいよアトラクションです。J A 弥栄支店長、地元演芸クラブなどの趣向を凝らした出しもので会場内に笑い声があふきました。交流を深める楽しい一日となりました。



J A しまね弥栄支店・J A しまねいわみ中央女性部 弥栄と杵束公民館は11月28日、弥栄老人福祉センターで町内の住民を招いて「いきいきサロン」を開催しました。支店が地域の皆さんと行う支店協同活動も兼ね、杵束公民館も共催するこのイベントは、地域の住民にふれあいの場を提供



12月講義「家庭で出来る簡単お節料理作り」



JA女子大学いわみ中央キャンパスは、13日、12月の講義「おせち料理」を地区本部管内の石見公民館にて開催しました。講師にJAしまねいわみ中央女性部弥栄の女性部員、山根ひとみさん、三浦洋子さんをお招きし、参加者13名が2班に分かれご指導を受けました。

「家の光」12月号より伊達巻きや昆布巻き、フライパンチャーシューなど各班6品ずつ作り、お節料理の基本を学びました。

女子大学5期生は8月にも料理教室を行っており、今回は2度目の料理教室ということもあり、皆さん手際が良く、班ごとに作り方の話をしながらあっという間に全6品完成しました。彩りよく、美味しいお節が出来ました。

皆さんも家の光12月号を参考に是非お節料理に挑戦してみてください！



＊ JA女子大学OG会 ＊

クローバー

「ハーバリウム」はインスタ映え



JA女子大学OG会クローバー（会長 山口温子）は12月21日にいわみ中央地区本部にて、プリザーブドフラワーとシーグラスを使ったハーバリウム教室を開催いたしました。講師は、市内で教室をされている井上真美先生に来ていただき、ご指導いただきました。

最初に好みの色の花や瓶を「どんな感じになるか想像しながら選ぶのは、ワクワクするね。」とおしゃべりしながら、選びました。

いざ作業を始めるとなかなか思う位置に花が収まらず悪戦苦闘しながらも、お正月やクリスマスイメージし、メンバーそれぞれがアレンジを楽しみながら完成させました。



「JAしまねいわみ中央ゴルフ友の会」 チャリティーコンペで地域貢献!



11月7日(水)に金城カン トリークラブにて、JAしまね「いわみ中央ゴルフ友の会」チャリティーコンペが開催されました。当日は天気も良く絶好のゴルフ日和となりました。毎年、この時期のコンペはチャリティーコンペと銘打って開催されます。寄付を募ったところ、ご参加頂いた29名全ての会員より、多くの寄付が集まりました。

なお、集まりました寄付は12月4日(火)に、JAゴルフ友の会の前本会長と井上本部長が、浜田市社会福祉協議会を尋ね、大谷会長へ手渡されました。毎年行っている活動であり、今後もJAしまね「いわみ中央ゴルフ友の会」では地域貢献活動を行っていきます。

一級葬祭ディレクター新たに1名誕生



平成30年度葬祭ディレクター技能審査が実施され、いわみ中央葬祭センターの榎亜希子さんが新たに一級合格証を手に入れました。

この資格制度は、全ての葬儀における受注から会場設営、式典運営に至るまでの詳細な知識と技能を審査するもので、厚生労働省認定の制度です。この認定をステップに、より一層組合員・利用者の皆様に支持いただけるJA葬祭の一員として決意も新たに修練を重ねてまいります。

第38回寿ロード一泊二日の旅



いわみ中央地区本部は、11月20日(土)21日にかけて「第38回寿ロード一泊二日の旅」を開催しました。

皆様はまず「旧伊藤伝右衛門邸」を見学。NHKの朝ドラ「花子とアン」でも、仲間由紀恵演じる白蓮が吉田鋼太郎演じる伊藤伝右衛門に嫁ぎ、暮らした場所として再注目され、約2,300坪の広大な敷地に建てられた豪邸を見学しました。



続いて南蔵院の林住職による法話をお聞きしました。「自分が幸せを感じられるような生き方をしていなければ、人を幸せにすることはできない。まず自分が、今幸せの中に生きていることに気づく事。それには「心の勉強」が必要である」と説かれ、心のゆたかさとお会いの素晴らしさを教えていただきました。

花形歌舞伎では、がぶ役の中村獅童さんはいつか新作歌舞伎をするときは『あらしのよるに』をとずっと思われていたそうです。獅童さんの母が「いつか獅童にこれをやらせて」と歌舞伎化の企画書を既に渡されていたようで、とても思い入れのある歌舞伎となったそうです。

そのほかにも、ユネスコ世界遺産に指定された「神宿る島」宗像・沖ノ島も見学し、盛りだくさんの内容を楽しんでいただきました。いわみ中央地区本部は今後も年金受給者の皆様に楽しんでいただける企画を計画してまいります。



宇野支部 グラウンドゴルフ大会

11月13日(火)、宇野町にある山田グラウンドにて、年金友の会宇野支部(佐々木巖支部長)は20人の参加を得て第23回グラウンドゴルフ大会を行いました。

例年11月中旬ごろ行われるこの大会は、ベテラン競技者に混じり、初心者、そして職員も参加しています。ラウンド中はホールポストを通り過ぎれば残念がったり、離れた位置からポストにピタリと止めれば歓声が沸きあがったり、和気あいあいと参加者の声が周囲に広がりました。

参加者は優勝、準優勝、3位表彰のみならず、写真のよう に飛び賞を受け取り、これから先も健康でいて、来年もこの大会で出会えるよう呼びかけあっています。





25TH ANNIVERSARY HAGI IWAMI

萩・石見空港開港25周年記念企画

萩・石見空港より全日空でひとつ飛び!

協賛: 萩・石見空港利用拡大促進協議会

2泊とも2名様より1部屋で用意



世界文化遺産 中尊寺金色堂・日本三景 松島

瑞巖寺・五大堂・大崎八幡宮

震災遺構荒浜小学校・名湯 秋保温泉

3日間の旅



世界遺産 中尊寺 イメージ



日本三景 松島 イメージ



五大堂 イメージ



国宝 瑞巖寺 イメージ



国宝 大崎八幡宮 イメージ

旅行出発日

1班	平成30年	11月26日	月
2班	平成31年	1月20日	日
3班	平成31年	1月27日	日

旅行代金 (大人お1人様・2名様1室利用・萩・石見空港起点)(税込)

99,800円

※一人部屋追加代金15,000円(2泊)
 ※一人部屋を希望のお客様へ: 現地ホテルが非常に混み合っている為、一人部屋をご希望の場合、お部屋の確保をお願いいたします。予めご了承下さい。
 ※おひとり様お申込で相部屋をご希望の場合でも相手が見つからない場合、一人部屋追加代金を申し受けます。

募集人員 各班20名 (最少催行人員各班15名)

申込金 20,000円 (旅行代金に充当します)

申込締切日 各出発日の2週間前 (但し満席になり次第締切させていただきます)

食事条件 朝食2回・昼食2回(弁当含む)・夕食1回

添乗員 萩・石見空港より同行し 旅程管理業務を行います。

利用航空会社 全日本空輸(ANA)

利用バス会社 日本三景交通又は同等クラス

※弊社「貸切バス事業者リスト」当社ウェブサイト (<http://mtour.jp/pdf/buslist.pdf>) をご覧ください、当社支店へご請求下さい。

コース表

コース	出発	到着	乗車
1	萩・石見空港 (12:55)	羽田空港 (14:25)	ANA576便
1	浜松町駅	東京駅	山手線
1	東京駅	仙台駅 (18:04)	東北新幹線
1	仙台駅 (18:04)	仙台 (泊)	★夕食オプションもご用意しています★
2	仙台駅 (8:00)	世界文化遺産・国宝第1号 中尊寺金色堂	朝
2	中尊寺金色堂	日本三景を観光	昼
2	松島	松島 (15:40) ~ 塩釜 (16:30)	夕
2	塩釜	大崎八幡宮	夕
2	大崎八幡宮	秋保温泉 (泊) (17:40)	夕
3	仙台駅 (8:00)	秋保温泉	朝
3	秋保温泉	震災遺構・仙台市立荒浜小学校	朝
3	仙台駅 (11:44)	東京駅	山手線
3	東京駅	浜松町駅	山手線
3	浜松町駅	羽田空港 (15:30)	ANA1103便
3	羽田空港 (15:30)	萩・石見空港 (17:10)	ANA576便

※ご集合場所・出発時間は出発2週間前を目途にお届けする*旅のしおり、でご案内いたします。
 ※行程表の時間はあくまでも目安です。交通機関の都合により変更になる場合があります。
 ※萩・石見空港利用拡大促進協議会助成金制度が利用されている為、お客様自身によるお申込は出来ません。

旅のポイント

- 萩・石見空港から安心の翼 全日空でらくらくご出発。東京からは **往復とも 東北新幹線** であつという間に **社の都仙台**。
- ご夕食・ご昼食共に **地元の特産品を使った名物料理** をご用意いたします!
- 2泊とも **2名様より1部屋** をご用意いたします。

1日目 仙台
 仙台ラジソノホテル

2日目 秋保温泉
 篝火の湯 緑水亭

震災遺構
 仙台市立荒浜小学校

総合ポイント対象旅行

おさいふカード

JALまね 総合ポイントカードのある旅行は、本ポイント付対象の商品となります。(両面コース対象です)

旅行条件(要約) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので事前にご確認の上、お申し込み下さい。

本旅行は次の条件に基づきます。

この旅行(株)農協観光(観光庁長官登録旅行業第939号、以下「当社」といいます。)が企画・募集する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

その他の旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする取引条件説明書、契約書、確定書面(最終旅行日程表)、及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の取扱いとなります。

- 旅行代金に含まれるものは次のとおりです。
- 旅行日程に明示した航空・船輪・鉄道等利用交通機関の運賃、旅行日程に含まれる送迎バス等の料金、旅行日程に明示した観光の料金(バス料金・入場料)、宿泊の料金・朝食・夕食の料金、食料の料金、手荷物運搬料金、団体行動中の心付、添乗員付コースの添乗員の費用、なお、これらの諸費用はお客様のご都合により一部利用されなくても原則として払戻はいたしません。
- 旅行の申込みと契約の成立時期及び旅行代金のお支払いについて参加お申込みの際、当社所定の旅行申込書にご記入のうえ、右記の申込金をお支払い下さい。お申込金は旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。

お電話等でのお申込みの場合は、お申込み翌日から起算して3日以内に申込書と申込金を提出していただきます。旅行契約は当社が予約を承諾をし、申込書と申込金を受理したとき成立するものとします。旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日までにお支払い下さい。

〈国内旅行〉

取消日	取消料
旅行出発日の前日より起算して21日前まで	無 料
旅行出発日の前日より起算して20日～8日前まで	旅行代金の 20%
旅行出発日の前日より起算して7日～2日前まで	旅行代金の 30%
旅行出発日の前日	旅行代金の 40%
旅行出発日の当日	旅行代金の 50%
旅行開始後及び無連絡不参加	旅行代金の100%

●旅行条件の基準 この旅行条件は平成30年9月1日現在の運賃料金を基準としています。

国内旅行保険加入のおすすめ

お客様が国内旅行中、急病かつ高度な外傷の事故でけがをした場合、多額の医療費、治療費がかかることがあります。また、事故の場合、損害者への賠償請求や賠償金回収が困難な場合があります。これらの被害を、死亡・後遺障害等を補償する国内旅行保険に各自でお申し込みをすることをお勧めします。国内旅行保険については、弊社係員にお問い合わせください。

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

【株式会社農協観光代理業】観光庁長官登録旅行業第939号

JALまね いわみ中央旅行センター

☎0855-22-8820

総合旅行業務取扱管理者 申崎 秀美

鳥根県知事登録旅行業者代理業第17号

(お申し込みは上記の旅行センターへお願いします)

旅行企画・実施・お問い合わせ・お申し込みは

NOKYO TOURIST CORPORATION

一般社団法人日本旅行業協会 正会員 観光庁長官登録旅行業第939号

株式会社農協観光

浜田支店 TEL 0855-22-1536

〒697-0026 浜田市田町1674 第2オンビシアビル2F 総合旅行業務取扱管理者 / 小菅 保樹

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取引に関する責任者です。このご旅行に関してご不明な点がありましたらご連絡ください。お客様のご都合により、この旅行の開催が中止となる可能性があります。詳細は別途お渡しする「旅行条件説明書」の「3.お申込み条件」を確認の上、特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきます。写真は全てイメージです。

J A組合員・准組合員の皆様へ

J A組合員・感謝の集い (平成29年度業績還元)

吉本新喜劇 & パラエティーション in いわみ

ご存知吉本新喜劇が
浜田にやってくる!!

吉本が誇る笑いの定番、吉本新喜劇♪♪♪
舞台に吹き荒れるギャグの嵐に抱腹絶倒!!
貴方はこの笑いに耐えられるか?!



写真はイメージです。

とき

会場

平成31年3月26日(火) 石央文化ホール

開演 14時 (開場 13:30 ~)
開演 18時 (開場 17:30 ~)

お申込期限

平成31年
2月15日(金)まで

※組合員1名の申込みにつき、同伴者を含めて2名までの申し込みができます。(いわみ中央地区本部管内の方に限りです)
※組合員1名(同伴者を含む)のお申し込みは1公演に限ります。
※座席は「抽選」とします。なお、座席指定はできません。
※お申込の方は、別添えの申込用紙に必要事項をご記入の上、いわみ中央地区本部内最寄りの支店、事業所窓口にご提出ください。
※抽選結果は、入場引換券の発送をもって代えさせていただきます。発送は2月28日(木)を予定しております。
※就学前(小学校入学前)のお子様の入場はご遠慮ください。
※お申込みにあたりお知らせいただきました個人情報は、本イベントに関してのみ使用いたします。

主催 / JAしまね いわみ中央地区本部

お問い合わせ先 企画総務部 0855-22-0202 または最寄りのJA支店、事業所等窓口まで

JAで年金をお受け取りの皆さまへ

年金友の会 ふれあい大会

無料

「鹿島壽」劇団 公演 開催決定!!

日時：平成31年2月21日（木）13：30～15：50

場所：江津市総合市民センター（ミルキーウェイホール）

当日の出し物

～プログラム～

- ◎第一部
歌とおどりの華 舞踊ショー
- ◎第二部
古典舞踊 娘道成寺 安珍清姫
- ◎第三部
時代劇 新橋情話 恋の掛け橋 芸者の誠



事前に申込が必要です 窓口でご相談ください

キラリ いー顔！ 「そば聖」



三保三隅駅前に「そば聖」という蕎麦屋さんがあります（代表 長島 聖一郎）。2018年4月20日に駅前地区の活性化したいという気持ちを込めて駅舎降りてすぐのところにオープンしました。お蕎麦はすべて自家製粉の十割手打ち蕎麦となっており新鮮なお蕎麦を提供したいと早朝より石臼で挽いて使用されています。そば粉も地元のそば粉を使いたいとのことから井野地区高齢者クラブの「嶽そば」のそば粉を使用され地産地消にも繋げておられます。メニューも定番の「もり蕎麦」から「鴨南蛮」や「天ぷら」まで揃えておられ、スイーツも手作りで「蕎麦掻き入りのお汁粉」や「チーズケーキ」などもあります。11時から20時まで営業（水・木曜日定休日）しておられます。お近くに来られた時はぜひ立ち寄ってみてください。



福祉センター通信

～JA福祉用具貸与からのお知らせ～

今回は近未来的な車椅子を紹介します。

ここで紹介するのは、台湾のメーカーが提案する新たな車いすロボット。その名は「i Buddy」。高齢者が、長期的な介護人生に入るまでの速度をいかに緩和できるのかというところに注目したモデルで、自動追跡機能を持つというのが大きな特徴といえる。

「同伴ケアロボット」から「ドライブモード」へトランスフォーム！

さまざまな機能が衰え始める高齢者のために、自主的な行動力、外出する能力を維持する、というところに着目したこの「同伴ケアロボット」は、周囲の環境を判断しながら、高齢者の近くで追跡してくれるというものだ。

そして、疲れて歩けなくなったら「ドライブモード」へとトランスフォームする。タマゴ型シェル状の上部のハッチドアがスライドすると中からシートが現れる。このハッチドアには指紋識別システムが搭載されており、直感的に操作が可能で、防犯性も高い。

ボディ下部にはタイヤが（駆動輪を含む）4輪あり、補助輪も用意。回転半径は61cmとコンパクト。「i Buddy」への乗降についても、ロボット動力システム制御技術を導入し、スイッチを押すだけで椅子が前に移動する、収納式立ち上がりサポートシートシステムを採用。スマートフォンでの操作も可能。



詳細は福祉センター 佐藤にお問い合わせ下さい
☎0855-22-8918

退職者
佐々木 廣子 平成30年11月30日付
金 築 知奈美 (旅行センター)
戸 田 玲伊奈 (浜田西支店)
（上府事業所）

採用者
室 崎 真一 平成30年11月14日付
（葬祭センター）

異動
金融業務課 坂野亜耶子 (宮農企画課)
浜田西支店 西村 香織 (長浜事業所)
上府事業所 和田 正人 (浜田東支店)

人事異動

2月1日(金)から3月1日(金)まで毎週金曜日に開催いたします。
場所／いわみ中央地区本部1F応接室
時間／午前9時から午後3時まで

税務相談会

1月26日(土) 浜田支店
午前9時から午後3時まで
1月26日(土) 江津支店
午前9時から午後3時まで

休日ローン相談会

1月24日(木) 金城支店
午後3時から午後7時まで
1月26日(土) 江津支店
午前9時から午後3時まで
2月26日(火) 浜田西支店
午後3時から午後7時まで

年金相談会

タテのカギ



- ① 佐々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- ④ うわさが広がる際につくことも
- ⑦ 鉄道のレールの下に並べます
- ⑨ 人数を数えるときに使う言葉
- ⑩ パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- ⑪ 子羊の肉のこと
- ⑬ 3.14159……と続く円周一
- ⑮ 道端のこと。—— 駐車
- ⑰ 寝不足で目の下にできる人もいます
- ⑱ 小説家・尾崎紅葉の代表作『—— 一夜叉』
- ⑳ ショートケーキによく似合う赤い果実
- ㉑ マンションの—— 人さんにあいさつをして出掛けた

ヨコのカギ



- ① 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- ② マージャンをするとき囲みます
- ③ 劇場の舞台や花道の地下にあります
- ⑤ 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- ⑥ 起立！ ——！ 着席！
- ⑧ バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- ⑫ 足利尊氏が開いた—— 幕府
- ⑭ 片時もそばを離れません
- ⑯ 漢字で書くと浮塵子。稲の害虫です
- ⑰ 地面につちなどで打ち込みます
- ⑲ カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	7	11		17	20
2		12	15		
3		10			
4	8			18	
5	9	13		19	
6		14			

答え
A B C D

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成31年2月5日（火）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「コママワシ」



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんば 健康散歩 JA島根厚生連

春の七草

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

お正月はいかがでしたか？おせちにお雑煮、色々食べたか？飲んだり胃腸もお疲れ気味なのではありませんか。今回はそんな胃腸のお助けマン「七草粥」についてお話しします。

「春の七草」を「1月7日朝に七草粥を食べる」と知っていても、由来や効果などまでは知らない人が多いのではないのでしょうか。「七草」とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを指します。これら七草が入ったお粥を食べると無病息災を願う、古くは平安時代から伝わる習慣です。清少納言の「枕草子」には、「七日の日の若菜を、六日、人の持て来……」という一文があります。

正月6日から7日にかけての行事で6日の夜はヒイラギなどの刺のある木の枝や、蟹のはさみの様な尖ったものを戸口に挟んで邪霊を払い、七草叩きといって、叩きこぼしをしながら七草を包丁でたたき、粥を炊き込みます。7日の朝、歳神に供えてから家族で食べると万病を払うとされています。

また、七草粥は日常の食生活に戻るといつの区切りとなるほか、新年のごちそうで弱った胃をいたわり、野菜が乏しい冬にビタミン、ミネラルの豊富な七草で栄養のバランスを整えるという古人の知恵があります。

【七草の効用】
セリ：免疫力を高め風邪やインフルエンザを予防するビタミンA。疲労回復に効くビタミンB群。疲労回復を手助けするビタミンC。加えて鉄分も多く含まれているため、冷え性・貧血の症状を和らげます。
ナズナ（へんぺん草）：セリ同様ビタミンA、B群、C、カリウム、鉄が含まれている他、カルシウムや亜鉛なども含まれています。
ゴギョウ（ハハコグサ）：実は詳しい栄養成分が分かっていないキク科の植物。しかし、咳やのどの痛みを和らげる作用があると言われています。
ハコベラ：タンパク質が比較的多く含まれ、ミネラルをはじめとした栄養に富んでいます。また、利尿作用のあるサポニン、止血作用のあるクマリンが含まれています。
ホトケノザ：高血圧の予防・胃腸の働きを整えるとされていますが、栄養、効能はあまり知られていません。
スズナ（かぶ）：胃腸の消化を助けるアミラーゼ、免疫力を高めるビタミンC、むくみを解消するカリウムが含まれます。
スズシロ（大根）：スズナ同様、胃腸の調子を整えるアミラーゼ、ビタミンCが豊富で、肌を若々しく保つ効果も。また、食物繊維も豊富で便秘の解消に効果があります。

年々、野草が生えているところは少なくなり、ホトケノザやゴギョウを見る機会も少なくなりました。しかし、スズナはカブ、スズシロは大根のことですから、これらはお馴染みの食材ですね。この時期はスーパーでも七草セットが売られています。無理に七草全部でなくても、身近なタイコン、カブなどでも良いです。自然に満ちた、体に優しい食材を毎日の食事に取り入れて、寒い日々を乗り越えましょう。

組合員の皆様へ

備えて安心。いつでも便利。クミアイ家庭薬です。

クミアイ 家庭薬 のしくみ

- 1 まずは薬箱をご自宅に
いつでもご利用可能な薬屋さんの完成です。
- 2 定期的に配置員が訪問します
知識豊富な配置員が丁寧に対応いたします。補充とご精算もこの時に。
- 3 お薬は使った分だけ後払い
お薬の代金はご使用分のみのご精算です。他に代金は発生しません。
- 4 配置する内容は自由に選べます
70種類以上の品揃えの中から、ライフスタイルに合ったものを。

— 担当の配置員が配置箱の設置と薬の補充に伺います。 —

シニア世代の
アクティブ生活を
おいしくサポート!

Kyoyaku 毎日おいしく
グルコサミン

500ml(約16日分) **1,800円(税抜)**



お好みで
うすめて
飲む



お問い合わせ先



協同薬品工業株式会社 島根営業所

〒699-0641 島根県出雲市斐川町美南1655
TEL 0853-73-7430



JALまねは、出産・育児を応援します!

JALまね 出産・育児コミュニティ

JALまね

こども 倶楽部



お申し込みは
こちらからから



入会金
年会費
無料

平成30年度 会員募集中。

対象 島根県在住でご妊娠中の方

会員期間 ご入会日からお子様の1歳の誕生日末日まで

募集期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日

★下記、特典01から03については最寄りのJA支店よりご自宅までお届けします。
(郵送での対応は行っておりません。)

特典
01

ご加入時に
オリジナル
限定品プレゼント

特典
02

ご加入から
ご出産まで
たまごクラブ
お届け

特典
03

ご出産時に
記念品
プレゼント

特典
04

各種 お役立ち
情報お届け

特典
05

お子様が
満1歳になるまで
ワクワクする
イベントご招待

※特典03の内容は、各地区本部により異なります。詳しくは、該当のJALまね地区本部窓口にお問い合わせください。

和風もちピザ



もちもちの食感のおもちをピザ生地代わりにします。佃煮の塩分とチーズの塩分で味付けはしなくてもおいしく食べられます。フライパンでもいいけど魚焼きグリルでもできます。佃煮は生姜、しじみなど好きな佃煮でどうぞ。

●材料 (2人分)

もち	4個	ピザチーズ	適量
玉葱	1/4個	サラダ油	大さじ1/2
佃煮 (生姜、しじみなど好みの物)		もみのり	適量
	大さじ2		

●作り方

- ①フライパンに油を入れ熱くなったら餅を並べ、弱火でフタをして焼く。
- ②ふっくらと膨れて焼けたら裏返し、両面を焼く。
- ③フライ返しで押し、もちを広げる。
- ④玉ねぎスライス、佃煮、ピザチーズを乗せフタをして3~5分蒸し焼きにする。
- ⑤もみのりを乗せる。

かまぼこチヂミ



お正月も終わり、お節の蒲鉾が残っていませんか。海鮮で作るのがおいしい、韓国料理のチヂミ。新鮮な魚から作られたかまぼこのチヂミおいしいですよ。

●材料

かまぼこ (お正月の残り)	適量	卵	1個
にら	1束	水	120cc
人参	1/3本	ごま油	大さじ1
小麦粉	100g	ポン酢	適量
片栗粉	40g		

●作り方

- ①かまぼこは5mmぐらいにスライスする。にらは、3cmの長さに切る。人参は千切りにする。
- ②ボールに卵、水、小麦粉、片栗粉を入れ混ぜ、ダマがなくなったら、かまぼこ、人参、にらを入れ混ぜる。
- ③フライパンを熱くして、ごま油を入れ②の生地を流し入れ焼く。両面を焼いたら、ポン酢をつけていただく (②の中にキムチを入れ焼いてもおいしい)。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は津和野町の太鼓谷稲成神社です。日本五大稲荷のひとつに数えられているこの神社では、全国でも珍しく「いなり」を「稲成」と表記します。「成」には、津和野藩主亀井矩貞公の思いにより、願い事が叶うようにとの意味が込められていると言われていました。多くの参拝者が訪れ、特に正月は毎年数十万人の参拝客で賑わいます。

編集後記

明けましておめでとうございます。編集一同まだまだ正月ボケが抜けきっていませんが、様々な情報をお届けする「JAしまねびより」を本年もよろしく願っています。今月の特集は、お正月らしく「榊」を取材していますので是非ご覧ください。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

